

令和2年度地方創生拠点整備交付金事業の評価

1. 地方創生拠点整備交付金の目的

地方創生拠点整備交付金は、未来への投資という観点から、地方版総合戦略に位置付けられた、地方公共団体が自主的・主体的に実施する地域拠点づくりなどの事業で、平均所得の向上・生産額の増加・雇用創出など、地方創生への波及効果の発現を期待できる施設の整備等を支援するため、国が交付するものです。

2. 地方創生拠点整備交付金の対象事業

(1) 名称

力強い農業基盤整備のための拠点改修プロジェクト

(2) 内容

農家の高齢化や割安な海外産の農畜産物の流入など厳しさを増す農業環境を打開するため、袖ヶ浦市農畜産物直売所「ゆりの里」を増改築することで農畜産物販売面積を増やし、地産地消の更なる推進を図ります。

また、6次産業化に意欲ある事業者や新規就農者が商品開発・試験販売する場所を確保することで、新たな販路開拓や消費者ニーズを把握し、農業ビジネスの強化・袖ヶ浦産ブランドの確立を図ります。

○交付対象事業に要する経費

総事業費 66,301 千円

(交付率 1/2、平成 29 年 2 月補正予算)

○施設整備の内容

農畜産物直売所改修工事設計委託、店舗拡張工事、売場内照明器具改修工事、休憩所屋根設置工事、外壁改修工事、アイス売場設置工事、キュービクル設置工事等

(平成 29 年度事業執行)

(3) 重要業績評価指標（KPI）

別表（3ページ）のとおり

3. 実績値の評価

平成27年度ゆりの里年間生産者売上額と比較した増加額は、令和2年度の目標値を大きく上回りました。

その他2指標についても令和2年度の目標値を達成しました。

4. 事業の成果及び今後の方針

本事業を実施した結果、すべての指標が目標値を上回りました。特に平成27年度ゆりの里年間生産者売上額と比較した増加額については、目標値を142,216千円も大幅に上回っていることから、整備の効果が十分に出ていると考えます。

今後は、販売方法の多様化を模索し、売上の向上や来客数のさらなる増加を図っていきます。また、6次産業化により商品化された農畜産物の特産化や販売強化を図るとともに、県や農業協同組合等と連携し、新規就農者の増加に向けた取組を進めていきます。

5. 総合計画審議会による検証

すべての指標が目標値を達成し、平成27年度ゆりの里年間生産者売上額と比較した増加額については、大幅に目標値を上回った。

今後も、6次産業化された農畜産物のブランド強化や販売強化とともに、新たな品目の増加にも努められたい。

また、新規就農者の増加や育成についても、関係機関と連携して進められたい。

別表

	事業開始前 平成27年度末	目標 実績	平成28年度 (1年目)	事業終了時 平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)	令和元年度 (4年目)	令和2年度 (5年目)	増加分の累計 実績は 令和2年度末時点
平成27年度 ゆりの里年間生産者 売上額と比較した 増加額(千円)※		【目標増加額】	0	0	+10,000	+3,000	+3,000	+16,000
	341,000千円	【目標売上額】	341,000	341,000	351,000	344,000	344,000	—
		【実績増加額】	+27,710	+28,656	+39,225	+1,477	+45,148	+142,216
		【実績売上額】	368,710	369,656	380,225	342,477	386,148	—
6次産業化の 取組み件数(件)	2件	【目標】	0	1	1	1	1	4
		【実績】	0	2	1	1	1	5
新規就農者数(人)	11人	【目標】	1	1	1	1	1	5
		【実績】	3	0	2	3	1	9

※ゆりの里増改築工事後の平成30年度から、平成27年度と比較した生産者売上額の増加分を目標値として設定しています。

※生産者売上額と指定管理者仕入分を合計したゆりの里全体の年間売上額は平成27年度549,221千円、

平成28年度561,339千円、平成29年度546,019千円、平成30年度548,536千円、令和元年度504,081千円、

令和2年度534,128千円となっています。